

## 女子大学生（八丈島出身）からのメッセージ

私は高校入学前に、家族で八丈島に移住しました。

これまで、東京との2拠点の生活だったため、島内の高校に入学したことで、より島での生活が日常となりました。そして高校卒業後の進路選択のタイミングで、八丈島の食文化、その背景にある歴史、ストーリーが大好きであること、民宿という場を通して生まれる人々のコミュニケーションに関心があることに気づき、食マネジメント学部への進学を決めました。

私の今の想いとしては、若いうちから島の100年後、1000年後を見据えて島のためになることをしたいと考えています。その理由としては、八丈島が大好きであることと、地域をよくするには若者の力が重要だと感じるからです。これからの八丈島を担う若い世代がポジティブに八丈島に帰ってこられる風潮を作りたいです。

私は、食マネジメント学部1期生として入学し、この春卒業しました。食に関するあらゆることについて、ここにアクセスすれば知ることができるという箱を学んだイメージです。ここからは、食マネジメント研究科に進み、食分野研究のパイオニアとして研究に励みます。研究は、あくまで八丈島をワールドの宝庫とし、実装ベースで進めることを計画しています。

食のプロフェッショナルとして、若者が働きやすいまちづくり、食文化や食を通じたコミュニケーションをテーマにした研究者として、1人の普通の人として、100年後、1000年後を見据えて島のために活動していきます。

新たな取り組みとして、今年度からMAKERS UNIVERSITYといってこれからの日本の未来を支える若者のコミュニティに仲間入りしました。ここには、さまざまな分野で活躍する革命児が集結しています。先日の合宿では、心強い仲間と多く出会いました。私はこの仲間の知恵を借りたいと思っています。

そのため今年は、多くの革命児たちを島内に呼び込み、ワーケーションプランや旅行プランなど、どうパッケージするのか、どう値決めするかということの本気で考えたいと思っています。そして、外部からみた八丈島の魅力をもう一度見つめ直します。

最後になりますが、現在八丈島で活躍する事業家や、活発に活動する高校生などとのコミュニケーションの場があると素敵だと思います。そのような機会がありましたら是非お声かけ頂けると幸いです。

佐藤 宇宙